



選手の自主性を伸ばし、強い選手へ

ひろべ かずなり
広部 和成さん(三ツ矢元町)
 (3列目右から6人目)

撮影場所：長浜北小学校体育館

夕方、体育館に広部さんが入ってくると子どもたちの「こんにちは！」という元気のいいあいさつが響きます。仕事が終わってすぐのハードなスケジュールにも関わらず、熱意を持ってエネルギーに指導を行う広部さん。「どんなに大変でも子どもとバドミントンが大好きだから続けられるんです」と目をいきいきと輝かせます。

クラブチーム「サンライズ」を立ち上げたのは平成25年。立ち上げ当初から70人近くの入団がありました。当時、指導者としての経験は浅かったため、仕事が休みの日など空いた時間に、指導論や練習方法を本やインターネットで調べ、勉強。練習も週5日行い、働きながらバドミントン漬けの生活を送りました。

広部さんの熱意と選手たちの練習の成果が実り、平成28年には女子ダブルス5年生以下の部でチームとして初の全国大会出場選手を輩出しました。当時、広部さん自身もプレーヤーとしてシニアの部で全国大会出場を決めたばかりでしたが、自分の時以上に嬉しかったそうです。「私のほうが選手より力が入っていました。出場が決定したとき、選手の両親と喜びを爆発させました」と笑いながら当時を振り返ります。

広部さんは子どもたちにバドミントンを通じて「苦勞は買ってでもしているが、遠回りはするな」という言葉を教えているそうです。「私のバドミンの師匠から教わった言葉です。苦勞は積極的にしているが、取捨選択をしっかりとし、遠回りになることはしては

だめだ」という意味。試合の苦しい場面で何度も励みになってきた言葉です。取捨選択の判断ができるように、選手たちの自主性を伸ばす指導を心がけています」と語ります。

これからの目標はチームのレベルの底上げと、7月8日から始まる全国大会の予選を突破すること。「選手たちには十分に力がある。あとはプレッシャーに負けないように自分たちの力を出してほしい」と意気込みます。また、6年後に行われる滋賀国体に出場する選手をチームから輩出するといった大きな目標も持ちます。

子どもたちとバドミントンにかける溢れるほどの熱い気持ちが、今後も選手たちを勝利へ導く大きな力となっていくでしょう。

Smile Smile

このコーナーでは、市内在住のお子さんたちの写真を掲載します。笑顔と元気あふれるお子さんたちの写真を募集しています。掲載を希望する人は市民広報課(☎65-6504)まで申込みください。



スポーツや勉強にいつも頑張っているダイゴ。これからも思いっきり頑張れ！応援してるよ。

野澤 大牙(だいご)さん(平成20年5月生まれ)
 (湖北町大安寺)

脇坂 凪(なぎ)さん(平成22年7月生まれ)
 (小谷美濃山町)



サッカー大好きな凪です。サッカー選手になれるように頑張っています。

まちの人口	平成30年6月1日現在	人口118,676人	男58,059人	女60,617人	世帯数45,449世帯
	平成30年5月中の異動	転入262人	転出270人	出生97人	死亡113人 婚姻41件

